



平成18年4月18日

各 位

会 社 名 株式会社スクウェア・エニックス
代 表 者 名 代表取締役社長 和田 洋 一
(コード番号 9684 東証第一部)
問 合 せ 先 経営企画部長 佐々木 通博
(TEL. 03-5333-1555)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成17年11月18日に公表いたしました平成18年3月期(平成17年4月1日～平成18年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

平成18年3月期通期(平成17年4月1日～平成18年3月31日) (単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成17年11月18日公表)	136,000	28,500	17,500
今 回 修 正 予 想 (B)	125,000	15,000	10,000
増 減 額 (B - A)	△11,000	△13,500	△7,500
増 減 率 (%)	△ 8.1	△ 47.4	△ 42.9
(ご 参 考) 前 期 実 績 (平成17年3月期)	73,864	25,901	14,932

2. 個別業績予想数値の修正

平成18年3月期通期(平成17年4月1日～平成18年3月31日) (単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成17年11月18日公表)	75,000	21,000	13,000
今 回 修 正 予 想 (B)	70,000	13,000	8,000
増 減 額 (B - A)	△5,000	△8,000	△5,000
増 減 率 (%)	△ 6.7	△38.1	△38.5
(ご 参 考) 前 期 実 績 (平成17年3月期)	63,950	23,533	13,562

3.修正の理由(連結、個別)

以下の各事業セグメントにおける実績の計画比未達を主要因として、売上高および経常利益が前回公表値を下回る見込みになったことによる修正であります。

ゲーム事業は、国内の市場環境は引き続き厳しいものの、「キングダムハーツII」「ファイナルファンタジーXII」などの大型タイトルが好調だったことから、前期比で増収の見込みとなりました。しかし、上期の不振を挽回するには至らず、計画比では未達となりました。

オンラインゲーム事業は、フラッグシップタイトルである「ファイナルファンタジーXI」の運営が堅調に推移し、前期比で増収増益の見込みとなりましたが、当期に新たに投入したオンライントイトルの運営が伸び悩み、計画比で未達となりました。

モバイル・コンテンツ事業は、前期比では増収の見込みとなったものの、下期において海外展開における収益寄与および国内における先行投資費用の回収による成長を見込んでいたところ、双方が遅れたことにより大幅にコストが先行することとなり、計画比で未達となりました。

出版事業は、「鋼の錬金術師」に続く人気作品が育ちつつあることから、雑誌・コミックスが好調に推移し、計画を上回る見込みとなりました。

下期より連結対象となった株式会社タイトーの事業(AM 等事業セグメント)は、連結営業利益への寄与を見込んでおりましたが、下期より参入した業務用キッズカードゲーム機ビジネスが苦戦したことと、ゲーム施設運営において新店・既存店ともに計画未達となったことなどにより、営業赤字の見込みとなりました。

その他事業は、映像作品「ファイナルファンタジーVII アドベントチルドレン」の大ヒットにより、前期比で大幅な増収増益となり、計画も上回る見込みとなりました。

以 上